

令和2年10月16日

# 貧酸素水塊速報 (2020年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議  
 神奈川県水産技術センター ○内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター 東京都環境局  
 第三管区海上保安本部 ○(国)国立環境研究所  
 ○モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 令和2年10月13日観測結果

貧酸素水塊は船橋沖から袖ヶ浦沖にかけて分布していましたが(図1)、強く貧酸素化している海域はありません。

水温は表層、底層ともに20~23℃で、9月下旬以降の表層水温の低下に伴う鉛直混合が進んで水温差が小さくなっています。

※内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

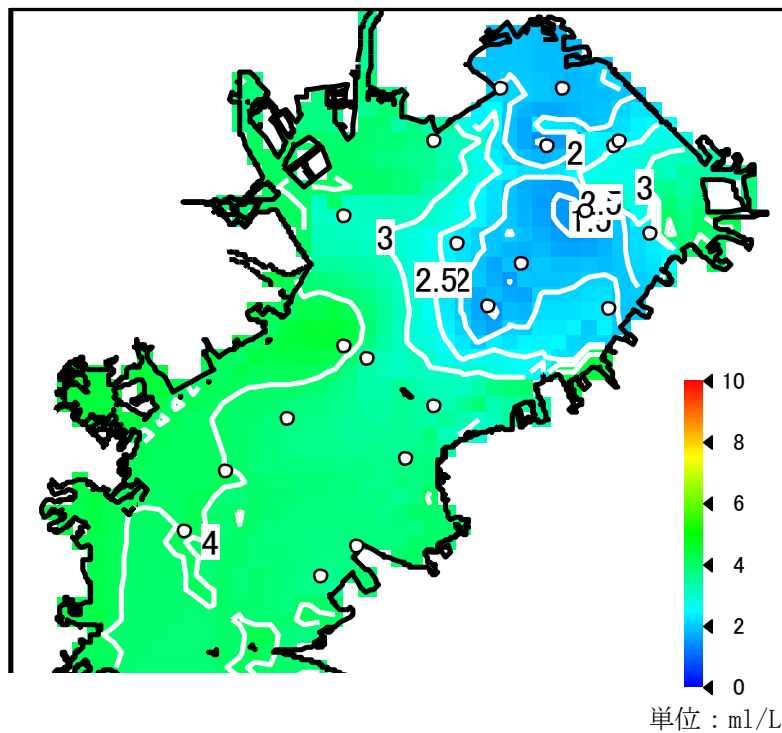


図1 底層の溶存酸素量分布

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30~40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	